

第35回宮崎県子ども・子育て支援会議発言要旨

1 開催日時 令和6年11月14日（木） 午後2時～午後3時40分

2 開催場所 宮崎県庁5号館521号室

3 出席者 あつたようこ いずもとせいいち おがわみゆき かじき くらながしんいち さほただのり じゅうくるぎ
熱田陽子、伊豆元精一、小川美由紀、加治木のぞみ、倉永慎一、佐保忠智、重黒木
みちえ なかむら ながとも なりた か はまべなおこ みのべはじめ
康恵、中村みどり、長友みほ、成田あす香、浜辺直子、袁部初（以上五十音順。
敬称略。）

4 議事等の概要

- (1) 宮崎県こども計画（仮称）の素案について
- (2) 令和6年度「災害時における相互支援に関する協定」に基づく訓練の実施について

【主なやりとり】

- (1) 宮崎県こども計画（仮称）の素案について

資料1—1、1—2及び参考資料として宮崎県こども計画の素案冊子について、事務局から説明があり、内容について質疑応答等が行われた。

- (委員) 県内と県外を比べたときに宮崎はこどもを育てる上ですごくいい環境がある。そのような子育ての環境面をPRして、宮崎で子育てをしたい方を集めていくことはとても大切ではないかと感じている。
- (委員) 素案44、45ページ「安心してこどもを生き育てることができる環境づくり」で、高原町のこども家庭センターの話を知ると、いじめや様々なトラブルがある家庭については、母親が妊娠のときから何か問題があるように感じている。そういった意味でも産前産後ケアは非常に重要な役割があると感じている。しかし、産後ケア事業を受けられる助産院は小林市に1箇所しかない。地域によっては近くにないところもあるため、県の計画では、その取組が県内地域に行き届くような計画にしていきたい。
- (委員) ・認定こども園は、子育て支援に取り組むことが必要であり、産前産後ケアが大事だと実感している。看護師や保健師、助産師が入り、事業に取り組んでいるところもあり、もっと広まってくればよいと考えている。

- ・若者が家庭を持つこと、子どもを持つことは幸せだなと感じられるような保育、教育、子育て支援の取り組み方、また、雰囲気づくりが大切ではないかと感じている。

(委員) こどもの自殺を防ぎ、生きる力を養うためにも「性教育」に是非、力を入れていただきたい。また、不安や大きな問題を抱えている子どもたちの声を数多く拾えるように、相談する先生の幅も広がって欲しいと感じている。

(委員) ・素案 33 ページ「子ども・若者の健やかな育ちの実現」で、その中に、リプロダクティブ・ライツのことも入れていただきたい。
・61 ページ「共働き・子育ての支援」について、男性の育児休業の促進も重要であるが、男性が積極的に子育てに関われるような働き方も必要ではないかと感じている。

(委員) ・性教育は子どもだけでなく、大人も対象にする必要がある。様々な機関が連携した宮崎独自のやり方が構築できたら、互いの性の尊重により協力して子どもを育てる環境が醸成され、少子化対策にもつながるのではないかと考える。
・中高生にどう関わるかを計画に盛り込んでもらい、県外に出た子どもたちがまた宮崎に戻って働いてもらうためにはどうすればいいのか考えていかなければいけない。

(委員) ・素案 46 ページ「質の高い幼児教育・保育の提供」で、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定子ども園教育保育要領の言葉を入れていただきたい。その中には様々な詳しいことや指針等が書いてあり、色々な人が広く知る上でも重要なことであると思うので、是非、お願いしたい。
・いじめ・不登校対策については乳幼児期から取り組んでいただきたい。

(委員) ・人権を尊重する意識や態度を育成することに関しては、学校の先生その他、保育に関わる教員方にも必要なもので追加して欲しい。
・素案 46 ページ「質の高い幼児教育・保育の提供」の概要説明文に「幼児期は～」と始まっているがここの始まりを「乳幼児期は～」に変えていただきたい。
・それぞれの子どもたちに合う多様な学びや授業を行うことで、子どもたちが主体的に学び学校が居心地の良い場所と思えるようにしていく必要がある。

(委員) ・ 幼児教育での経験が良い形で小学校へ引き継がれるように幼児教育と小学校の連携に力を入れてほしい。

・ 放課後児童クラブの児童の受入施設については、行政だけでなく、民間企業も協力しながら取り組んでいく必要がある。

(委員) こどもが生まれてから乳幼児と初めて触れ合うという方が非常に多い。小中高校生のうちから乳幼児と触れ合う機会を設けることで、将来、子育てをする上で役にたつこともあるかと思うので、その内容を計画に取り入れて欲しい。

(2) 令和6年度「災害時における相互支援に関する協定」に基づく訓練の実施について
資料2の資料を基に事務局から説明。内容について、各委員より質疑応答はなかった。